

# 企画名 香りの道案内

企画団体名 公立大学法人 大阪市立大学

## 企画内容

大学構内で学生、教職員、地域住民の通過道路憩いの場として24時間フルオープンで開放している空間を今以上に緑豊か、香り豊かな空間として再整備するものです。現在、ケヤキをはじめ数種の植物が植栽された緑道的な空間となっています。『香りの道案内』はこの緑道に沿って、四季折々の香りのよい植物を植栽し、花の香りに導かれて歩みを進めていただけるというコンセプトで計画しました。ここを利用する学生、教職員、地域の方に樹木が織り成す四季折々の花の香りを楽しんでいただける憩いの空間を提供するものです。

## 企画目的とそのアピールポイント

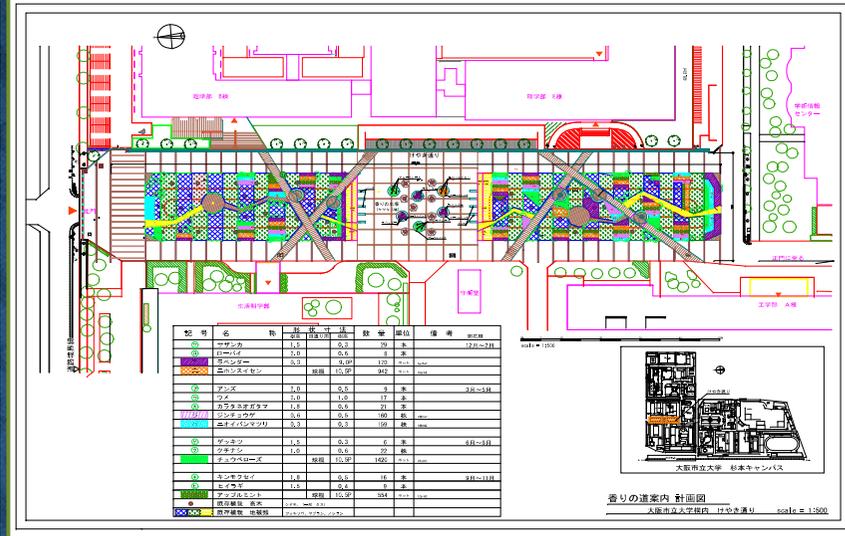
本大学は大阪市住吉区の南端にあって杉本キャンパスの周囲は東側の浅香中央運動公園を除いては緑の少ない地域にあります。北側と西側は低層住宅の密集する地域です。このキャンパスには多くの緑、樹木があり、地域の緑化環境に重要な機能を果たしております。

計画対象地のけやき通りは大学構内ではありますが、24時間いつでも、誰でも自由に通行することができる歩経路となっております。名前の通り、ケヤキをメインに、教本のクスが生育しています。通りでありながら、中央部には広場、けやきの林の中には小道を配し、サークルベンチ等も設置しており、学生や教職員、近隣住民の方々が集い、憩える場として、多くの人に利用されています。

ここに香りの中低木、草本を植栽することで変化に富んだ緑と花と香り豊かな林が完成し、訪れる人々に四季折々の花と香り、緑を楽しんでいただけます。また歩みに応じ、次々に感じられる花の香りが道案内をしてくれます。

昼も夜も、ベンチでひと時を過ごす時にも香りが漂ってくる憩いの空間となります。通過するだけでなく、立ちどまって、空を見上げ、緑の中で大きく深呼吸をしていただきたい。そんな思いで企画しました。

すでにこの地区も維持管理は大学職員、学生と地域のボランティアによって行われています。



## 対象地の現況



## 企画実施後のイメージ

